

令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立本所高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 令和7年4月1日～令和8年3月31日まで
主任教諭(総務主任兼務)=事務局長、総務部員2名 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画課（室）長、主幹教諭(教務担当)、主幹教諭（進路指導担当）、
主幹教諭（3学年主任）、主任教諭(生活指導担当)、主任教諭（総務担当）、主任教諭（1学年主任）、
主任教諭（2学年主任） 計10名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
学識経験者(大学教授)、PTA会長、近隣中学校長、近隣福祉事務所所長、同窓会会長、
児童福祉NPO代表、近隣住民代表 計7名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
- 第1回 令和7年6月26日（木曜）内部委員10名、協議委員6名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
- 第2回 令和7年11月27日（木曜）内部委員10名、協議委員5名
授業公開、これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
- 第3回 令和7年2月6日（金曜）内部委員10名、協議委員4名
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
- 第1回 令和7年6月26日（木曜）内部委員3名、評価委員4名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討
- 第2回 令和7年11月27日（木曜）内部委員3名、評価委員4名
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
- 第3回 令和7年2月6日（金曜）内部委員3名、評価委員3名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理評価報告書（原案）の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
- | | | | | |
|------|-------|---------|---------|---------|
| ・11月 | 全校生徒 | 対象：739人 | 回収：636人 | 回収率：86% |
| ・12月 | 保護者全員 | 対象：739人 | 回収：461人 | 回収率：62% |
| ・12月 | 地域・住民 | 対象：51人 | 回収：39人 | 回収率：76% |
| ・12月 | 教職員 | 対象：43人 | 回収：30人 | 回収率：70% |
- (3) 主な評価項目
・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備・
ライフワークバランス
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
・生徒はおおむね本校の教員の授業について満足しているが、教科・科目によっては十分に満足していない生徒もいる。
・生活指導は、保護者から80%の支持率を得ている。生徒の支持は6割程度。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
・「生徒による授業評価」の実施等により生徒の声を聞くとともに、教科担当者が指導計画、評価等
について更に説明を行うことが大切である。生徒への生活指導に意味を理解につとめていく。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・生徒の授業についてのアンケート結果から、授業改善に向けた校内研修の実施、充実が必要であると認識できた。
- ・生活指導の内容の意義を生徒に理解してもらう工夫も必要である。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・学校を生徒が誇れる場所としていくことを目標に学校と生徒が考えていくという視点が大切である。
- ・防災に対し、多角的な見方で備えることが重要である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。

(2) 学習指導

- ・授業評価による課題。

(3) 特別活動

- ・文化スポーツ推薦も実施している中で部活動のさらなる活性化が課題である。

(4) 生活指導

- ・落ち着いた校風を掲げた生徒指導を実践している。

(5) 進路指導

- ・進路実績を着実に伸ばしているが、ミスマッチを防ぐために入りたい学校を決めてから進路を決めるといった指導を徹底することがさらに求められる。土曜授業がなくなるため週末課題の充実も。

(6) 健康・安全

- ・精神的な悩みを抱える生徒へのさらなる組織的な対応が課題である。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
3	1					3

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

【成果】 調整がつかず参加が実現しなかった。

8 その他

- ・保護者のアンケート回収率を更に高めるため、質問内容を含め検討の必要がある。
- ・評価精度の更なる向上のため、学校公開の機会を増やしていく。